

歩いて巡る 佐倉文化・芸術コース

京成佐倉駅

徒歩15分

① 国立歴史民俗博物館

徒歩5分

② 佐倉城址公園
(正岡子規の句碑)

徒歩4分

③ 暮らしの植物苑

徒歩3分

④ 旧平井家住宅

徒歩10分

⑤ 佐倉市立美術館

徒歩3分

⑥ 旧今井家住宅

徒歩3分

⑦ 佐倉新町おはやし館

徒歩5分(新町通り)

⑧ 塚本美術館

徒歩10分

⑨ 武家屋敷・ひよどり

徒歩10分

⑩ 彫刻通り
(正岡子規の句碑)

徒歩20分

JR佐倉駅



日本の歴史と文化について総合的に研究展示する我が国最大の歴史民俗博物館。広大なスペースには先史・古代から現代に至るまでの資料がテーマ別に展示されています。



佐倉城址公園は佐倉城跡の中に設置されている公園で、天守跡、空堀など城の遺構が多数残された公園です。公園内には、正岡子規が佐倉を訪れた際に詠んだ句が刻まれた碑があります。

【堂撃木や冬されまざる城の跡】



【暮らしの植物苑】は、昔から人々の暮らしに深く関わってきた植物群を6つのゾーンに分けて展示しています。苑内を散策しながら、日本の生活文化を支えた植物や園芸文化に触れることができます。

江戸時代の有力な商家で文久8年(1863)の佐倉藩の記録にも御用商人としての登録があります。店舗兼主屋は明治中期、脇蔵は大正6年の建築で、国の登録文化財となっています。通常は非公開ですが、イベント時に臨時公開をします。



佐倉市立美術館は、佐倉藩士の子として生まれ近代絵画の先駆者である【浅井忠】など佐倉ゆかりの作家の作品を収蔵しています。エントランスホールは千葉県指定文化財である旧川崎銀行佐倉支店の建物を活かしています。

明治時代から昭和初期に呉服商「駿河屋」を営んでいた「旧今井家住宅」は国の登録文化財になっています。建物のある場所は、佐倉城下の町人地だった地域で、幕末に長州藩士の桂小五郎が泊まった旅籠(はたご)「油屋」の跡地としても有名な場所です。



【佐倉新町おはやし館】では、各町内の所有する6体の山車人形のうち2点が展示され、郷土の文化・伝統行事などの紹介や観光情報の提供をおこなっています。また城下町めぐりの休憩所としてもご利用いただけます。



【塚本美術館】は、国内有数の収蔵数を誇る日本刀専門の美術館です。佐倉出身の実業家【故塚本素山氏】のコレクションをもとに設立され、刀身400点、鞘250点を3か月ごとに展示しています。



関東最大級の武家屋敷群は、城下町の面影をいまに残す土塁と生垣に面して現在3棟が公開されています。ひよどり坂は最近インスタスポットとして注目を集めている【サムライの古径(こみち)】とよばれている美しい竹林の古径です。



佐倉市は【彫刻のある街づくり】を進めており、多くの彫刻に出会えるまちです。JR佐倉駅北口の彫刻通りには、久保浩作の『風の姿』や助川武史作の『笛吹く少女』など10点が、また、北口広場には朝倉響子作の『マリーとキャッシー』が設置されています。

歩いて巡る 佐倉文化・芸術コースマップ

